

特異的エクソソーム内包マイクロRNAを用いたうつ病の診断方法

呼吸病態学 和泉弘人 他

利用分野

わが国では100万人のうつ病患者が医療機関を受診しており、15人に1人は生涯1度は罹患すると言われている。ストレス社会でうつ病は、誰でもかかりうる身近な病気であるが、問診が主たる診断方法であり、客観的方法として導入できる可能性がある。

シーズ

少量の血液サンプルから、うつ病の早期発見・早期治療をするための技術である。うつ病に特異的なマイクロRNAを含むエクソソームを抽出して、このマイクロRNAの増減を計測する。



ニーズ

うつ病の診断基準は、特定の症状がどの程度続いているかに基づいており、部分的に患者の自覚的評価が含まれる。ゲノム情報、脳画像情報など様々な方法が提案されているがいずれも感度・特異度が十分ではない。

連携分野

エクソソーム内包マイクロRNAの抽出技術を有する研究機関や企業とのコラボ



知財保護

特願2020-007168



うつ症状を
チェックする
シートがある。



本学マスコットキャラクター
ラマティ



産業医科大学

産業医科大学 産学連携・知的財産本部
〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp